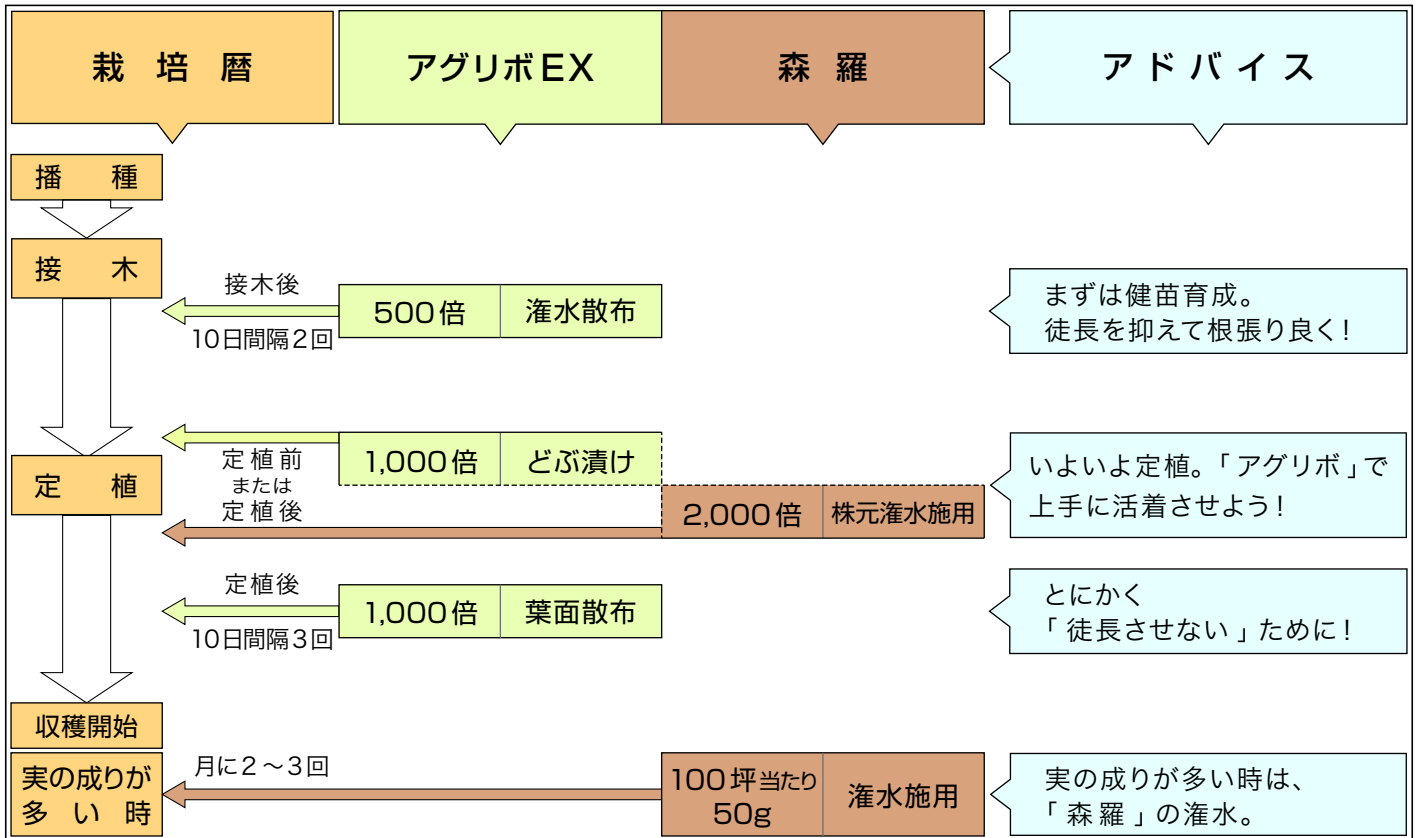


徒長させない！

なすは、節々に実を付けていく作物です。

その節間が伸びてしまうと、その分実付きが悪くなります。

生育の初期の段階から節間を間伸びさせないよう、「アグリボ」を使いましょう。



ホルモン剤の単果処理

時に、「アグリボEX」を1,000倍で、ホルモン剤(通常濃度)と混用してください。ホルモン剤の濃度を濃くすると、ガク割れの原因になりますので注意しましょう。

ボケなす対策！

水分の吸収や転流が悪くなると、ボケなす果が発生しやすくなります。水分を吸収できる根作りと果実への転流を充実させるために、「アグリボEX」を散布してください。

高温時の灌水に、森羅！

高温時の灌水は、どうしても徒長しやすくなりますので、「森羅」を100坪当たり50g灌水施用してください。

天候不順が予想される場合、「アグリボEX」の代わりに“光触媒”入り「アグリボ3」の3,000倍希釈液の散布が有効です。

「アグリボEX」や「アグリボ3」を葉面散布する際、“展着促進材”(界面活性剤・トレハロース)入り「ヤワラ」を1,000倍希釈相当で加用すると、散布液の展着性向上に効果的です。

ご質問 フリーダイヤル イーハナ イーヤサイ アグリボ
ご相談 **0120-187-183** 相談室

AGREVO

<http://www.agrevo.co.jp/>

株式会社アグリボ 〒240-0035 神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町528
TEL:045-352-5327 FAX:045-352-5328